

「三重県教育ビジョン(仮称)」の策定に関するアンケートの結果概要

○ アンケートの目的

「三重県教育ビジョン(仮称)」の策定に向けて、児童生徒を対象とするアンケートを実施し、学校生活等に関する意見を募ることで、計画策定にあたっての参考とします。

〔 こども基本法第 11 条の規定に基づき、こどもに関する施策の策定にあたり、こども等の意見を反映させるための必要な措置として実施 〕

○ 実施期間

令和5年 10 月 10 日(火)～令和5年 11 月9日(木)

○ 対象者

公立小中学校、公立義務教育学校、県立高等学校および県立特別支援学校に在籍する小学校(小学部)4年生から高校生(高等部)までの児童生徒〔専攻科を含む〕

○ 実施方法

三重県電子申請・届出システムを利用して実施

〔 1人1台端末等を活用し、インターネット経由で回答 〕

○ 回答件数

17,004 件

○ 質問内容

- ・よりよい学校生活を送るためには、どうしたらよいと思いますか。
- ・学校が、いじめや暴力のない安心できる場所となるためには、どうしたらよいと思いますか。

回答件数(校種別)

17,004 件の回答が寄せられました。

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
回答件数	8,281	8,200	491	32	17,004

【参考】令和5年5月1日時点での在籍者数

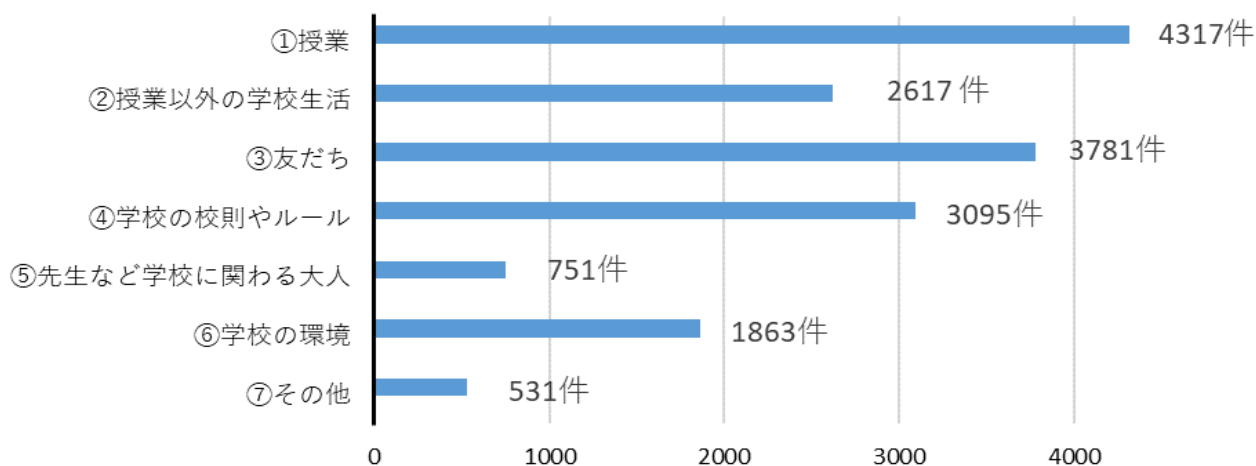
小学校(44,277人)、中学校(44,105人)、高等学校(34,816人)、
特別支援学校(1,828人)※小学校は4年生～6年生まで 合計 125,026人

<質問内容>

(1) よりよい学校生活を送るためには、どうしたらよいと思いますか。あてはまる項目を選んで、ご意見を書いてください。(複数選択可)

- ① 授業について
- ② 授業以外の学校生活(行事・委員会活動・部活動など)について
- ③ 友だちについて
- ④ 学校の校則やルールについて
- ⑤ 先生など学校に関わる大人について
- ⑥ 学校の環境について
- ⑦ その他

回答は、「授業について」が4,317件で最も多く、次いで「友だちについて」が3,781件、「学校の規則やルールについて」が3,095件でした。



主な意見は次の通りです。

① 授業について

○ 先生の教え方について

- おなじ人ばかりの発表とならないように、みんなに平等にあててほしい。そして、答えがあっていたときは、先生にいっぱいほめてもらいたい。(小)
- 答えが正しいか間違いかにかかわらず、自分の考えに自信をもって発表できるようなクラスの雰囲気をつくってほしい。(中)
- 教科書の説明だけでなく、教科書にないもっと深い内容まで教えてほしい。また、先生の話の間くだけの受け身の授業にならないように工夫してほしい。(高)
- 生徒が答えを導けなくても、自分の力で最後まで取り組めるように、先生は少しだけサポートをして、温かく見守っていてほしい。(高)

○ グループ活動について

- 自分とちがう考えの友だちの意見もわかるし、あまり話したことのない人とも仲よくなれるので、みんなでいっしょに勉強する時間をふやしてほしい。(小)
- 異なる学年の人の意見を聞けると、普段と違って新鮮だし、勉強にもなるので、学年を越えて一緒に学ぶ機会を増やしてほしい。(中)
- 生徒が黙々と問題を解くのではなく、コロナ禍で減少してしまった友達と一緒に考え発表する機会を増やして、学習のインプットとアウトプットをバランスよくしてほしい。(高)

○ ICTの活用について

- タブレットをつかうと、みんなが意見を発表しやすくなるから、授業でもっとつかえるようにしてほしい。(小)
- 課題は、タブレットへ配信した方がよいものと、紙に印刷して配った方がよいものがあるので、どちらが理解しやすいのかを考えて使い分けをしてほしい。(中)
- 将来、ICT を使いこなせるようになりたいので、ノートパソコンを使って、みんなで考えたり話し合ったりして、それをプレゼンテーションする機会を増やしてほしい。(高)
- 例えば、防災学習でドローンから撮影した映像を使って避難経路の確認ができる地図を作るような、いろんな体験ができるようにしてほしい。(特支中)

② 授業以外の学校生活(行事・委員会活動・部活動など)について

○ 体験活動について

- 本物を見たり、本物に触ったりしたほうが、教室での授業より印象に残るので、いろんなところへもって行って勉強したい。(小)
- 市内の清掃活動に参加すると、市の現状も分かるし、SDGsを考えられるきっかけにもなるから、学校の中だけでなく、積極的に地域に出て活動したい。(中)
- 高校では、コロナ禍で中学校の時にできなかった職業体験に行きたい。大学が主催している講座にも積極的に参加して、これまで知らなかった新しいことをたくさん体験したい。(高)

○ 学校行事について

- みんなと仲よくなると学校生活がもっと楽しくなると思うので、1年生から6年生がいっしょにできるいろんな行事をふやしてほしい。(小)
- 学校行事は、学校生活の楽しみのひとつなので、内容を充実させたり、新しい行事を増やしたりしてほしい。(中)
- 授業は嫌いでも、学校行事を好きな人はたくさんいるので、学校生活がもっと楽しく感じられるように学校行事を増やしてほしい。(中)
- 学校行事は、先生と生徒の関係を越えて関わることができるので、先生も生徒もみんなが心から楽しめて、学校が一体となる行事を増やしてほしい。(高)

○ 委員会活動・部活動について

- いろんな学年の友だちがふえると学校が楽しくなるので、ちがう学年の子と一緒に委員会活動に取り組みたい。(小)
- 生徒会の立候補者が学校をよくするための公約を掲げ、学校行事や校則を自分たちで考えられるように生徒会活動の幅を広げてほしい。(中)
- 学校の部活動数が少なくなっているのので、他校と一緒に部活動を行えるようにするなどして、いろいろな部活動を選べるよう工夫してほしい。(高)
- 体育の時間が大好きだし、放課後も興味のあるスポーツをしたいので、特別支援学校にもいろんな部活動をつくってほしい。(特支高)

③ 友だちについて

○ 友だちの大切さについて

- 自分がまちがっているときには注意してくれて、楽しく競いながら一緒に伸びていける友だちがいたら、もっと楽しく学校に行くことができよと思う。(小)
- 友だちがいたら学校が楽しいし、毎日学校に行こうと思えるので、みんながいろいろな人と積極的に話したり、関わりを持てたりできるとよと思う。(中)
- 困ったときに頼れて、心の支えとなる友だちが近くにいると、勉強だけでなく学校の様々な活動にも安心して取り組むことができよと思う。(高)
- 友だちと一緒に勉強すると集中力が高まる。みんなが仲良く、みんなとたくさんお話ができるようにすると、学校で安心して生活することができよと思う。(特支小)

○ 学級内での関わりについて

- 休み時間は、友だちといろいろなことを話したり、いっしょに遊んだりできるから楽しい。休み時間は、クラスのみんながいろいろな人といっぱいかかわれるとよと思う。(小)
- みんなの考えがうまくまとまらないこともあるけど、いろいろな意見を言いあい、どうしたらうまくいくのかということと一緒に考えて、友だちとのきずなを深めていけるとよと思う。(小)
- クラスメイト同士でたくさん話をして仲を深めていけば、授業や行事で協力して楽しく取り組めてよと思う。(中)
- 休み時間は楽しく話をして、授業中は社会で役立つコミュニケーション能力を高めあって、場面に応じた有意義な友だち付き合いをしていけるとよと思う。(高)

○ 学級や学年を越えた関わりについて

- 学年に関係なくみんなで交流できる時間をたくさん作り、上級生が下級生にいろいろなことを教えて、すべての学年の子と仲よくなれるとよと思う。(小)
- 学年合同の授業や行事などを行い、今まであまり話したことのない他のクラスの子とも仲よくなれるとよと思う。(中)
- 部活動は、クラスメイト以外の仲間と自分の好きなことでつながることができ、話も広がり、仲良くなりやすいので、部活動に入るとよと思う。(高)

④ 学校の校則やルールについて

○ 校則・ルールの大切さについて

- 廊下を走っていて人とぶつかってしまったことがあるので、人にけがをさせたり、迷惑をかけたりしないためにも、ルールはあったほうがよいと思う。(小)
- 校則やルールがあると、みんなが安心して学校生活を送れると思う。全員が楽しく学校生活を送るためにも校則やルールが必要だと思う。(中)
- 少し自由な校風の方が人間として成長できると感じるが、社会に出たときを考えると、校則やルールのなかでうまく過ごしていくことも必要だと思う。(高)

○ 校則・ルールを守ることについて

- 学校のルールをやぶることで友だちとの関係がわるくなったり、信頼がなくなったりすることがあるから、みんながルールを守れるように注意しあいたい。(小)
- 廊下を走ったら先生は注意するけど、先生が走っていることもあるので、先生もちゃんと校則を守ってほしい。(小)
- 知らないことで校則をやぶってしまうこともあると思うので、みんなが見えるところに校則の内容についてのポスターを貼ったらよいと思う。(中)
- ルールを作るなら、なぜこのルールが必要なのかをきちんと説明して、全員にきちんとルールを守らせてほしい。(高)

○ 校則・ルールを見直すことについて

- 女の子だから制服はスカートとか、せいけつなイメージだからこの髪型という決まりをやめ、自由にできるところを増やしてほしい。(小)
- 私の学校では、みんなでアンケートをとって、靴下の色や柄は自由でよいと校則が変更されたので、生徒の力で時代に合わせた校則に変えていくことができるとよいと思う。(中)
- よりよい学校生活を送るために、校則は、生徒みんなの意見を聞き、生徒が自分たちで今の時代にあったものに見直すことができるようにするとよいと思う。(高)

⑤ 先生など学校に関わる大人について

○ 先生との関わりについて

- 先生に好きなことやがんばっていることを知ってもらえるとうれしいから、先生とゆっくり話せる時間をたくさんつくってほしい。(小)
- 先生には、悪いことをしたときはしっかり叱ってほしいけど、生徒の意見を聞く前に決めつけずに、きちんと理由を聞いてからみんなが納得できるように叱ってほしい。(小)
- 先生には、クラスの誰かがいつもと違う様子だったら声をかけてほしいし、一人ひとりの長所や短所を含めて、しっかりと受け止めて接してほしい。(中)
- どんなに小さな悩みでも真剣に話を聞いてくれる先生がいると、学校に行ってもいいかなと少しは思える。(中)
- 学校行事などは生徒中心に活動をする 것도大事だけど、先生も生徒の輪に積極的に入って一緒に準備をしたり、行事に参加したりして、先生と生徒の間の距離を縮めてほしい。(中)
- 先生は、どの生徒の意見も尊重し、一人ひとりの生徒に対して分け隔てなく、平等に接してほしい。(高)

○ 他の大人との関わりについて

- 授業でないところでも、外国の方ともっとふれ合えると、考え方のちがいを知ることができるし、英語も少しはおぼえられるのでよいと思う。(小)
- いろいろな職業の人に、その仕事についての理由や働いていてよかったと感じていることを聞き、将来へのロールモデルとしていけるとよいと思う。(中)
- 部活動では、地域の人に来てもらう機会を作り、いろいろと教えてもらって、技術を磨いていけるとよいと思う。(中)
- 高校でも地域の人と交流する機会を増やし、地域のことを学び、地域のために一緒に何かに取り組めるとよいと思う。(高)

⑥ 学校の環境について

○ 学校・学級の雰囲気の大切さについて

- 人数が多いほうが学校はもっとにぎやかになるし、いろんな友だちと出会えて仲よくなれるので学校がもっと楽しくなると思う。(小)
- クラスには学校に来ていない子もいるので、誰もが学校に行きたいと思えるように、みんなが他の人に対する態度に気を付けることが大切だと思う。(中)
- 一人ひとりが授業や部活動に対して安心して取り組めるよう、互いに認め合えるような雰囲気にすることが大切だと思う。(高)

○ 学校施設について

- 足をけがしたときは洋式トイレでないと不便だし、トイレや手洗い場は使って気持ちのいいようにきれいにしてほしい。(小)
- いろんな人が本を好きになるように、図書館にたくさんの種類の本をおいてほしい。また、タブレットを使って本を読めるようにしてほしい。(小)
- 移動先の教室や体育施設が暑いと勉強に影響するので、授業で使う場所にはエアコンをつけてほしい。(中)
- 教室だけでなくグラウンドも整備して、体育の授業や部活動でも、使いやすく安全に活動できるようにしてほしい。(高)

⑦ その他

- 教科書だけでも重たいのに、最近はタブレットも持ち帰っているので、ランドセルが重くて困っています。(小)
- 給食は、グループになって友だちと話をしながら食べるともっとおいしくなるし、楽しい時間になると思う。(小)
- それぞれの特技を伸ばす機会となるので、個人的な絵画や書写のコンクールについても紹介や手続きのサポートをしてほしい。(中)
- 学校が家から遠い人でも、通学しやすくなるような工夫をして、いろいろな地域から学校に入学できるようにしてほしい。(高)

<質問内容>

(2) 学校が、いじめや暴力のない安心できる場所となるためには、どうしたらよいと思いますか。

主な意見は以下の通りです。

○ いじめや暴力のない学級づくりについて

- 「自分がされていやな事は友だちにしない」という気持ちをみんながもてば、いじめや暴力はなくなると思う。(小)
- 今は多様な考え方を認めていく時代なので、人の行動や考えを否定せず、いろいろな考え方があることを理解しあえるクラスになるとよいと思う。(中)
- いじめている人が、いじめの辛さやいじめられる側の気持ちを理解しない限り、いじめはなくなると思う。(中)
- 自分の意見を言えないようなクラスの雰囲気を作らないよう、一人ひとりが友だちとの間の言葉遣いに気をつけ、感謝の気持ちをしっかり伝えるように意識することが大切だと思う。(高)
- 嫌いな人だからいじめていいわけじゃないから、みんなのよいところを知ることができるようにするとよいと思う。(特支中)

○ いじめや暴力をなくすための取組について

- ちょっとのけんかから始まっていじめになったり、暴力をふるうことになってしまったりすることが多いので、けんかをしたら、みんなで話し合っ、仲直りをしたらよいと思う。(小)
- いじめ防止のポスターを作って掲示するなど、いじめをしてはいけないという雰囲気を作るとよいと思う。(小)
- 授業や学校行事で、おなじ学校に通う支援学級の子どもたちのことを知ったり、一緒に活動したりする機会を増やすとよいと思う。(小)
- みんなが、日常生活の中でいじめの原因となるような悪口や暴言などを簡単に言わないように気を付けていくことが大切だと思う。(中)
- いじめや暴力のことは、大人に直接相談しにくいこともあるので、定期的にアンケートを行って、先生や周りの大人に相談できる機会を増やすとよいと思う。(中)
- ストレスを発散できたり、1人になれたりする場所が学校にあるとよいと思う。また、そばに誰かがいてくれたり、誰かに話せたり、また、アドバイスをもらえる環境も大切だと思う。(高)

○ いじめが起こったときの対応について

- クラス会を開いて、いじめている人だけをせめるのではなく、いじめを笑って見ている人にも話を聞くようにして、みんなで話し合う機会をつくるのが大切だと思う。(小)
- いじめられている子は、自分でいじめられていることを先生や大人に相談しにくいと思うから、元気がなかったら、先生から優しく声をかけるとよいと思う。(中)
- いじめられている人を見かけたとき、誰もが直接やめるように言える雰囲気を作ることや、すぐに先生や近くにいる大人に相談することができるようにすることが大事だと思う。(中)
- 学校は、被害者が安心できるように何ができるのか、どのような対応をするのかを明確にする
とよいと思う。(高)
- いじめを受けている生徒が安心できるようにすることも大事だけれど、いじめをなくすには、
いじめた生徒にちゃんと指導をして、カウンセリングを受けさせることも必要だと思う。(高)

○ 困ったときの相談・サポート体制について

- 困ったことや嫌なことがあったら、なんでもすぐに相談できるような先生との関係をつくること
が大切だと思う。(小)
- みんなの前でいじめられていると言うのははずかしいので、タブレットで自分の気持ちを伝え
たり、一人になれる場所で心のノートに書いたりできるようにするとよいと思う。(小)
- 先生や家族にも言えないほどの辛い悩みがあった時には、溜め込めずに話ができたり、寄り
添ってもらえたりするサポートセンターがあるとよいと思う。(中)
- スクールカウンセラーがいるのは知っているが、相談している人をあまり見かけたことがない
ので、相談体制についてきちんと案内していくのが大切だと思う。(高)